

世界法年報

第45号

2026年3月

顧問小田滋先生のご逝去を悼み
謹んで哀悼の意を表します

世界法学会理事長 小畑 郁 1

特集「国際法における環境法的思考の可能性
——持続可能性を統合するグローバルな法システムの課題——」

論 説

国連海洋法条約の魚類資源の
保存に関わる規則と予防概念

上智大学教授 堀口 健夫 7

国際裁判における環境紛争処理と法的思考
——グローバル規制基準の可能性——

神戸大学准教授 平野 実晴 37

気候訴訟にみる共通だが
差異ある責任原則の機能と課題

横浜国立大学専任講師 藤田 大智 70

先住民族の権利運動をめぐる人権保障と
環境保護の調和不調和

——不調和の一因としての国際法の正統性の課題——

中央大学教授 小坂田 裕子 104

国際人道法と国際環境法の関係
——実質的な解釈論へ——

宮崎公立大学准教授 田村 恵理子 126

国際投資法と持続可能な発展のディスコース
——なぜ「調和」の論理が「対立」を生むのか——

大阪大学准教授 二杉 健斗 162

Human Right to a Clean Environment
and the Rights of Nature

Professor, Queen Mary University of London Malgosia Fitzmaurice 188

学会だより

学会活動記録 (2025年1月1日～12月31日)